

感染症科

Department of Infectious Diseases

診療科の特徴

感染症は日常の生活に密接に関連し、いずれの診療分野でも遭遇する疾患です。感染症はただ治療すればよいというものではなく、コントロールすることも重要です。それら感染症に関するすべての問題について、各診療科と協力して診療にあたっています。2011年4月から山陰地方初の感染症科として稼動しています。

1. 診療部門としては、現在は入院患者を中心に各診療部門からの要請による感染症コンサルト業務や培養結果等による治療のアドバイスをを行い、すべての科と横断的に連携しながらの診療を行っています。
2. 感染制御の面ではインフェクションコントロールチームをはじめとしたチームでラウンドなどを行っています。また、地域の病院と共同でラウンドなども行っています。
3. 教育研修の面では、感染症専門医を取得できる研修施設である事をふまえ、研修にも力を入れています。初期臨床研修では選択診療科の一つとして研修可能です。

指導医の紹介

感染症科部長 中村 嗣 (なかむら つかさ) 昭和63年卒

日本感染症学会 感染症専門医・指導医

ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター

日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医

日本内科医学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医

日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・指導医

日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医

日本エイズ学会 学会認定医

JMECC・ICLS インストラクター

日本医師会 認定産業医

博士 (医学)

緩和ケア研修会修了



みなさん、ぜひ島根県立中央病院で感染症の診療を学びましょう